

福祉だより

北六甲台&上山口東の住宅街

ぬくもり

第115号
令和3年4月15日

西宮市北六甲台地区
社会福祉協議会
会長 日高 昭夫

●発行/北六甲台地区社協 ●発行日/偶数月 ●編集/北六甲台地区社協広報部 ●配布エリア/北六甲台・上山口東



一〇二五年問題を控えて

超高齢社会を迎へ二〇二五年問題の対応が迫られています。団塊世代が後期高齢者を迎え医療・介護の現場は需要が供給を上回ります。政府は対応策として「地域包括ケアシステム」を目指しています。端的に言えば医療・介護を病院・施設から在宅・地域にシフトさせる仕組みづくりです。ところが地域包括ケアシステムの具体化はどの

初めての地域包括ケアZoom懇談会

地域でも進んでいません。地域包括支援センター、医療、介護、地区社協等の地域組織、ボランティア等の関係者の連携の仕組みづくりが難しいという背景があります。北六甲台地区では七年前に、地域包括ケアシステムの念頭に高齢者福祉の地域連携組織・福祉ネットワークが発足しました。福祉を生かすこのほど地域包括ケアの関係者の懇談会の開催にこぎつきました。

地域でも進んでいません。地域包括支援センター、医療、介護、地区社協等の地域組織、ボランティア等の関係者の連携の仕組みづくりが難しいという背景があります。北六甲台地区では七年前に、地域包括ケアシステムの念頭に高齢者福祉の地域連携組織・福祉ネットワークが発足しました。福祉を生かすこのほど地域包括ケアの関係者の懇談会の開催にこぎつきました。

在宅ケア・認知症地域支援

三月十四日(日)、福祉ネットと高齢者あんしん窓口山口(地域包括)の共催で初めての地域包括ケアZoom懇談会が開催されました。コロナ禍で対面懇談を避けたオンライン懇談会でした。在宅ケア、特養併設型デイサービス、地域密着型デイサービス、訪問看護ステーション、訪問介護施設、認知症グループホーム、在宅療養相談支援センター

北六甲台地区
地域包括ケアZoom懇談会
開催日：2021年3月14日(日) 13時～

主催：高齢者あんしん窓口山口&福祉ネット北六甲

好評のZoom懇談会

今後の懇談会の在り方についての意見交換では、地域包括ケアの連携の必要性やZoom懇談会のフラクナ進行を好感する意見もあり、懇談会継続が確認されました。一時半の初めての懇談会でしたが、多くの情報と貴重な意見交換ができました。懸念されたZoom操作も円滑に行われ次回以降の確かな手ごたえを実感しました。(日高・記)

ボランティアセンター あんない

北六甲台地区
ボランティアセンター
相談窓口・安心キット受付
☎・FAX：078-904-4576

あなたの町のボランティアセンター
お気軽にご相談ください

利用できるボランティアサービス
カーボランティア、電話訪問、安心キットの受付、よりよいサポート(有償)

その他のボランティア活動
施設ボランティア、地区社協の事業に参加、地域の活動

ボランティア活動Q&A

Q:
A:

いきいき体操北六ボラセン

毎週木曜日
A 午前10時00分～11時30分
B 午後 1時30分～ 3時00分
会場：安心プラザA室

「もっと地域の皆さんにボランティアセンターを知ってもらいたい!利用してもらいたい!」そんな思いでボランティアセンターのパンフレットを作りました。コンパクトで利用に便利な保存版です。お手元に1冊如何ですか?
お問合せ 078-904-4576

ボランティア募集

パンフレット発行

ボランティアセンター あんない

安心キットの情報見直しをしましょう!

① 119通報 → ② 発見・確認 → ③ 搬送

シールの貼付とキットの冷蔵庫保管

なぜ、冷蔵庫に入れるの?
冷蔵庫と決めておくことで、駆つけた人が、すぐに安心キットを見つけられるからです。

玄関ドア内側の上部中央

室内

キットを保管する冷蔵庫の扉の表面

冷蔵庫内の取り出しやすい場所

安心キットに入れるもの

①緊急情報シート(必要事項を記入したもの)
②健康保険証の写し
③病院や薬局などで買っている薬剤情報提供書やお薬手帳の写し※③は、用意できれば入れて下さい

平成25年の「安心キット」の導入後8年を経過しました。緊急情報の内容が変化していませんか? この機会に見直しをしては如何でしょうか

市社協エリア会議に初めて参加しました



市社協のエリア会議が三月十五日(月)十日

時半より山口公民館で開催されました。山口、北六甲台、名塩、東山台、生瀬の北部五地区から会長プラス一名が参加しました。

今回は第九次地区福祉計画策定の研修を兼ねた会議でした。初めての参加の上、社協活動にもまだまだ経験不足な私が福祉計画の策定と言われても議事内容についていける筈ありません。

ただ、最後の意見交換の中で、各地区がボランティアの高齢化に頭を悩ませていて、若いボランティアの育成と市の支援体制が今後いよいよ不可欠になってきていることを改めて実感しました。

第九次地区福祉計画策定では「みんなで「未来を話し合うこと」」特に大事にしたいことは「多様な人、団体、世代の意

見を聞く・話し合う・出会う場づくり」が強調されました。

社協といえば老人福祉のイメージが強いのですが今回は子ども・子育て世代にも目を向けています。多くの意見を聞き集約するのは大変な作業で一筋縄ではいきません。しかし難しく考えないで、日常の何気ない会話の中の小さなヒントを積み重ねていけばという気がします。ただ、心掛けていないと聞き逃してしましますよね。私自身振り返るとそうした反省ばかりで、これからは話に耳を傾けようと思います。

最後に北六甲台が心温かい思いやりのある街に向けて成長して欲しい。そのためにも住民が寄り添い、力を合わせて頑張りましょう！

ちなみに私は頑張り屋ではなく、まったり気分の好きな怠け者です。
(事務局員 北村)

「よりよいサポート」導入の背景と仕組み

導入の背景と趣旨

- ① 高齢者等の自立生活支援ニーズの増大
- ② 介護保険改正後の地域生活支援事業の遅れ
- ③ ボランティアの高齢化

- ④ 育て卒業母さんの「報酬のある地域活動」で新たなサポーターを発掘する
- ⑤ 低価格の有償サービスによる利用者の利用促進
- ⑥ 地域住民同士の助け合いによる安心安全な支援

仕組み

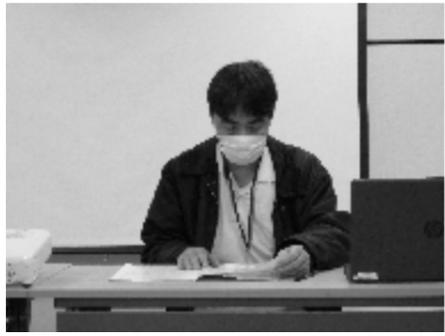
- ① 自立生活支援のためのボランティア
- ② 利用者は、高齢者、障がい者、介護者、子育て中のお母さん等の助け合いによる自立生活支援です。
- ③ 便利屋さんや家政婦さんとは異なる有償ボランティアです。
- ④ 利用者、サポーターの事前登録と双方のコーディネート
- ⑤ 利用者の利用者登録の申込み
- ⑥ 申込を受けボランティアコーディネーターが訪問取りを行います。
- ⑦ サポーターは提供可能活動を事前登録します
- ⑧ ボランティアが利用申込とサポーターの提供する活動をコーディネートします。

よりよいサポート立上げ

- 一六年に「よりよいサポート」を立上げました。
- ① 家事支援の有償化でサポーター、利用者の双方を新たに募る
- ② リタイアおじさんや子

市社協主催の「認知症サポーター養成講座」を受講

はじめに
コロナ感染第三波も少し落ち着き始めた三月十一日、山口公民館で、西宮市社会福祉協議会・共生のまちづくり課福祉啓発係主催による「認知症サポーター養成講座」が開催され、講師のイービィ・シーケアセンター伊丹・生瀬の三名の方からお話を聞きました。



私が「養成講座」を受講するのは今回で四回位になると記憶しています。高年齢の家族を在宅介護しているの、新たな気づきやもう一度基本的な知識を身に着けようと思ひ、受講しました。



認知症への理解
在宅介護の私の母は普通に話せる時があり、時に本当に認知症なのかと思つ時もあります。

認知症を引き起こす病気の種類の中で一番多いのはアルツハイマー病のようですが、健康な人でも脳を使わないと毎日細胞は数万個？死滅していくとテレビ番組で聞いたことがあり、複雑な気持ちになります。

認知症の本人に自覚がないのは間違いで、もの忘れによる失敗や家事・仕事があまくいかなくるといったことが多くなると、何となくおかしいと感じ始めるらしいです。

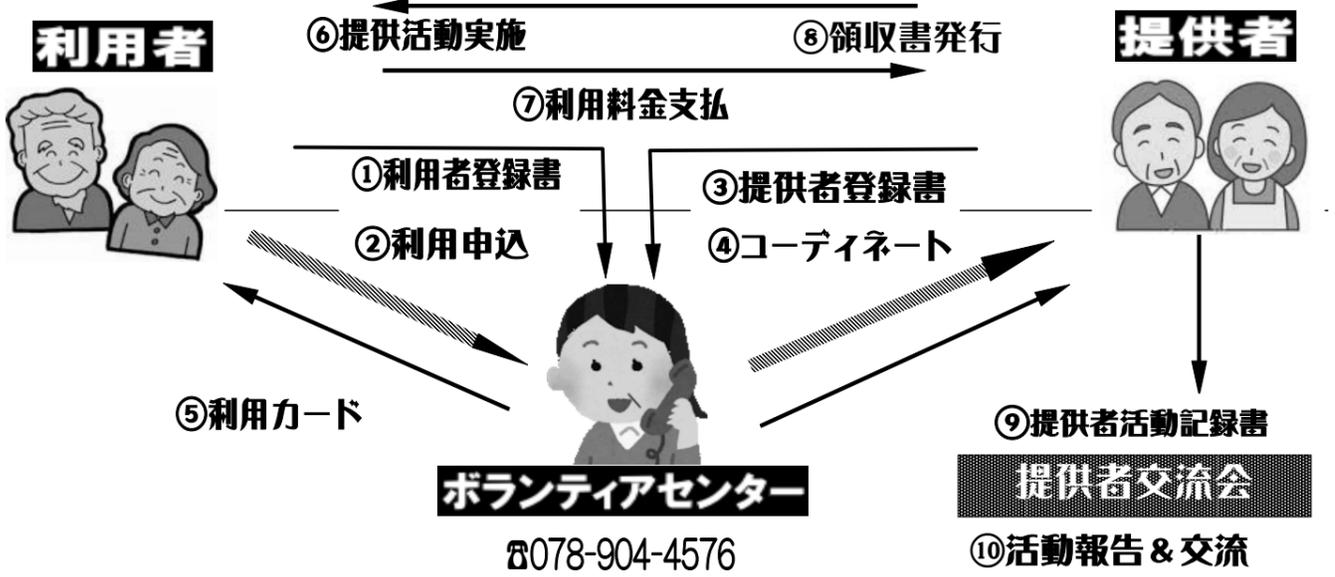
認知症の人への対応
○まず見守る
○余裕をもって対応する
○声をかける時は一人で
○後ろから声をかけない
○やさしい口調で
○おだやかに、はっきりした話方で
○相手の話しに耳を傾けてゆつしり対応する

基本姿勢である「驚かせない」「急がせない」「自尊心を傷つけない」「三つのない」は過去の受講でも聞いた記憶があります。

まとめ
家族に認知症の方がおられる方、何回も同じ言葉を繰り返す、イライラすることがありませんか。「話題を変えるとよいです」と、受講者の方からアドバイスを受けました。(広報部 小出)

よいサポートの概要

※以下、ボランティアサービスを提供する方を「提供者」、受ける方を「利用者」という



提供内容と料金

- 回数制の活動 一回五百円
電球や蛍光灯の交換、水道蛇口のパッキン交換、クリーニングの持ち込み持帰り、家具移動など
 - 時間制の活動 一時間七百円
庭の草抜き、植木の水やり、簡単な食事づくり、繕い物、通院や買物の付き添い、話し相手など
- ※提供料金には訪問に要する交通費を含んでいます

